

1.開講年度	2023
2.開講期	前期 金4限
3.講義コード	30176
4.授業科目	経済統計論 I (2023-前期-金4)
5.単位	2
6.担当教員	佐井 至道
7.配当学年：法学科	2年以上
8.配当学年：経済学科	2年以上
9.配当学年：経営学科	2年以上
10.配当学年：商学科	2年以上
11.備考	(事前申込科目) 経済学部 2 年生優先
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育	
16.授業形態	講義, 演習
17.授業方法	受動型, アクティブラーニング：課題解決型
18.受講生のPC等使用	PC・タブレット(教室に備付), PC・タブレット(学生自身が準備)
19.接続科目	地域社会, 国際社会, 産業界

## 20.授業の概要

経済学部経済学科に係る専門科目(選択必修科目)として、この講義では、教育理念に沿って、統計という手法を用いて経済事象を捉え、分析し、解決する能力を備えた人材の育成を目指す。

## **21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する**

- 1) 調査の手順を理解できる。
- 2) 官庁統計などの経済分野における調査について理解できる。
- 3) 官庁統計などで得られたデータについて適切な統計分析テクニックを用いることができる。

## 22.授業計画

この講義は対面で行う予定である。連絡事項についてはWebClassを通じて行う。

オンライン対応時には、YouTubeの視聴を基本とし、講義時間前にWebClassで視聴方法などを説明するとともに資料を配付し、課題はメールに添付して送信してもらう。

### 1.経済統計，社会調査，世論調査，市場調査などの概要と歴史

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：講義で学習した手法の復習

### 2.調査の目的と方法

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

### 3.量的調査と質的調査

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

### 4.調査の手順（調査票作成，フィールドワーク，資料の整理など）

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

### 5.国勢調査などの全数調査の概略とデータの読み方

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習

- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

## 6.官庁統計における大規模な標本調査方法

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

## 7.標本調査によって得られたデータの読み方

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

## 8.労働力調査データに対する分析

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

## 9.家計調査データに対する分析

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

## 10.社会生活基本調査データに対する分析

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

## 11.季節調整などのデータの修正方法

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習

- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

## 12. 景気指標などのデータの加工方法

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

## 13. プライバシー保護などの調査倫理について

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

## 14. 個々の実データに対するデータ分析

- ・事前学修：分析するデータの収集
- ・事後学修：予測結果と実際の値との差の評価

## 15. レポート作成

- ・事前学修：分析するデータの収集
- ・事後学修：予測結果と実際の値との差の評価

## **23. 予習・復習**

予習（1時間程度）使用するデータの選定，手法の予習など

復習（3時間程度）レポートの作成，返却されたレポートについての復習など

## 24.注意事項

成績評価方法：レポートと講義内の小テスト

講義における出席状況や提出する小テスト（小レポート）を80%，講義内のレポートなどを20%として評価する。小テスト（小レポート）については，毎回チェックして返却し，次回の講義で解説する。

ほぼ毎回の講義において，パソコンを用いてデータ分析を行う。

希望者多数の場合には抽選を行うが，2022年度入学の経済学部生を優先する。

## 25.教材

プリントを配布する。

## 26.教科書

## 27.参考書

ISBN	978-4-88730-420-8
書名	例解調査論
著者	佐井至道
出版社	大学教育出版
価格	2400円

## 28.授業関連科目

データサイエンス入門I, IIを前年度までに受講していることが望ましい。

経済統計論IIを引き続き受講することが望ましい。

## 29.授業関連資格

社会調査士

データサイエンス・リテラシー教育プログラム

## 30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	45%
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	5%
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	15%
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	15%
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	3%
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	2%
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	5%
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5%
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5%

### 31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト	講義における出席状況や提出する小テスト（小レポート）の内容を評価する。	80%
レポート	1回作成するレポートの内容を評価する。	15%
成果発表		
受講態度	受講状況を持続性・協調性などを含めて評価する	5%
その他		